

2012年度中間決算説明会



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

2012年11月

目次

・決算概要Ⅰ-①＜P/L: 連結・2行合算＞	1	・取引先支援・金融円滑化への対応	17
・決算概要Ⅰ-②＜P/L: 各行＞	2	・預貸金利ざや①	18
・決算概要Ⅱ-①＜B/S: 連結・2行合算＞	3	・預貸金利ざや②	19
・決算概要Ⅱ-②＜B/S: 各行＞	4	・投資型金融商品	20
・トップラインの増減要因① ～資金利益	5	・有価証券残高・評価損益	21
・トップラインの増減要因② ～非資金利益	6	・ポートフォリオ(円貨債券)	22
・トップラインの増減要因③ ～経費	7	・中期経営計画 Road to 10	23
・有価証券関係損益	8	・営業力の強化 ①法人戦略	24
・与信費用・不良債権	9	・営業力の強化 ②ビジネスマッチング	25
・自己資本の状況	10	・営業力の強化 ③海外進出支援	26
・繰延税金資産	11	・営業力の強化 ④個人戦略	27
・業績予想	12	・営業力の強化 ⑤店舗戦略・人材育成	28
・預金	13	・経営の効率化 経費削減への取組	29
・貸出金	14	・経営基盤の安定化 ①金融円滑化出口戦略	30
・信用保証協会保証付貸出	15	・経営基盤の安定化 ②資本政策	31
・住宅ローン	16	・地域社会とともに	32

分割子会社北銀コーポレートは再生支援専門会社として設立されましたが、当初の設立目的終了から平成21年9月に清算終了いたしました。一部過年度計数には分割子会社計数を加算し表示しています。

決算概要 I ー①<P/L:連結・2行合算>

[12/9期業績予想]

〈ほくほくFG連結〉(億円)	10月22日修正	12/9期	増減	11/9期
経常収益	[1,050]	1,057	+0	1,057
経常利益	[124]	89	▲100	189
中間純利益	[57]	61	▲28	89

〈2行合算〉(億円) (※)10月22日公表

コア業務粗利益	[745]	735	▲38	773
資金利益		625	▲21	647
うち国内部門		620	▲24	644
役務取引等利益		91	▲5	96
特定取引利益		1	▲3	4
その他業務利益(除く5勘定戻)		→▲2 16	▲8	→▲9 24
経費(臨時処理分を除く)(▲)	[495]	485	▲29	514
コア業務純益	[250]	250	▲9	259
国債等債券損益		→+4 93	+65	→+9 27
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)		343	+56	286
臨時損益		▲259	▲167	▲91
与信費用(▲)	[75]	104	+39	64
株式等損益		▲128	▲113	▲14
経常利益	※[128]	94	▲99	193
特別損益		▲2	+8	▲11
法人税等(▲)		22	▲61	83
中間純利益	※[65]	70	▲28	98

下線付数字:それぞれに含まれる債券のオプション取引損益

〈ほくほくFG連結〉

中間純利益 61億円 (11/9比▲28億円)
 ・・・・与信費用の増加、株式等損益の悪化

〈2行合算〉

コア業務純益250億円 (11/9比▲9億円)
 ・・・・資金利益、その他業務利益の減少
経常利益 94億円 (11/9比▲99億円)
 ・・・・与信費用の増加、株式等損益の悪化
中間純利益 70億円 (11/9比▲28億円)
 ・・・・特別損益の改善、税金費用の減少

連単差の内訳

(億円)	12/9期	増減	11/9期
差額 A-B	▲8	+0	▲9
子会社利益	5	+1	4
のれん償却	▲10	▲0	▲10
有価証券損益調整	▲1	▲0	▲1

決算概要 I ー②<P/L:各行>

(億円)	〈北陸銀行〉			〈北海道銀行〉		
	12/9期	増減	11/9期	12/9期	増減	11/9期
コア業務粗利益	424	▲27	452	310	▲11	321
資金利益	356	▲10	366	269	▲11	280
うち国内部門	352	▲12	365	267	▲11	278
役務取引等利益	56	▲3	59	35	▲1	37
特定取引利益	1	▲3	4	—	—	—
その他業務利益(国債等債券損益を除く)	10	▲10	20	→ ▲2 5	+1	→ ▲9 3
経費(臨時処理分を除く)(▲)	259	▲17	277	225	▲11	237
コア業務純益	164	▲9	174	85	+0	84
国債等債券損益	58	+57	0	→ +4 35	+8	→ +9 27
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	222	+47	175	120	+8	111
臨時損益	▲185	▲132	▲53	▲74	▲35	▲38
与信費用(▲)	95	+75	19	8	▲35	44
株式等損益	▲94	▲84	▲10	▲34	▲29	▲4
経常利益	23	▲115	138	71	+16	54
特別損益	▲1	+9	▲10	▲0	▲0	▲0
法人税等(▲)	2	▲56	58	20	▲5	25
中間純利益	19	▲50	69	50	+21	29

下線付数字:それぞれに含まれる債券のオプション取引損益 2

決算概要Ⅱ ー①<B/S:連結・2行合算>

〈2行合算〉(億円)	12/9末	増減	11/9末
貸出金	73,138	+777	72,361
うち中小企業等	46,911	▲1,029	47,940
うち個人ローン	20,340	+387	19,953
有価証券	23,926	▲731	24,658
預金(含む 譲渡性預金)	97,876	+2,528	95,347
うち個人預金	68,326	+1,662	66,664
個人預かり資産	74,022	+1,113	72,908
預金(円貨)	68,041	+1,655	66,385
投資型金融商品	5,980	▲542	6,523
外貨預金	285	+6	278
公共債	2,466	▲165	2,632
投資信託	3,229	▲383	3,612
金融再生法開示債権	2,521	+222	2,298
金融再生法開示債権比率	3.36%	+0.28%	3.08%
〈ほくほくFG連結〉(億円)			
自己資本比率	11.90%	+0.33%	11.57%
Tier1比率	7.98%	+0.26%	7.72%
繰延税金資産(ネット)対Tier1比率	10.18%	▲4.67%	14.85%
その他有価証券の評価差額	401	+208	192

〈2行合算〉

貸出金 11/9比 + 777億円

・・・地公体向け・住宅系ローンの増加

有価証券 11/9比 ▲731億円

・・・国債の減少

預金 11/9比 + 2,528億円

・・・個人預金中心に増加

個人預かり資産 11/9比 + 1,113億円

・・・個人預金が伸長

開示債権 11/9比 + 222億円

開示債権比率 11/9比 + 0.28%

〈ほくほくFG連結〉

自己資本比率 11.90%

有価証券の評価差額 401億円

決算概要Ⅱ－②＜B/S:各行＞

(億円)	＜北陸銀行＞			＜北海道銀行＞		
	12/9末	増減	11/9末	12/9末	増減	11/9末
貸出金	42,455	+398	42,057	30,683	+379	30,304
うち中小企業等	27,784	▲935	28,719	19,126	▲94	19,221
うち個人ローン	10,778	+271	10,507	9,562	+116	9,446
有価証券	11,782	▲1,075	12,857	12,144	+343	11,801
預金(含む 譲渡性預金)	55,412	+1,246	54,165	42,464	+1,282	41,182
うち個人預金	37,153	+824	36,329	31,173	+838	30,335
個人預かり資産	40,759	+426	40,332	33,262	+686	32,576
預金(円貨)	36,950	+829	36,120	31,090	+826	30,264
投資型金融商品	3,808	▲402	4,211	2,171	▲139	2,311
外貨預金	203	▲5	208	82	+12	70
公共債	1,586	▲136	1,723	879	▲29	908
投資信託	2,018	▲260	2,279	1,210	▲122	1,332
金融再生法開示債権	1,681	+150	1,531	840	+72	767
金融再生法開示債権比率	3.86%	+0.34%	3.52%	2.66%	+0.19%	2.47%
自己資本比率	11.89%	+0.27%	11.62%	11.05%	+0.48%	10.57%
Tier1比率	7.78%	+0.28%	7.50%	7.48%	+0.45%	7.03%
繰延税金資産(ネット)対Tier1比率	10.97%	▲5.41%	16.38%	10.85%	▲4.46%	15.31%
その他有価証券の評価差額	326	+132	193	143	+71	71

トップラインの増減要因① ～資金利益

- 競争激化の進行で貸出金利回りは低下
- 有価証券利息も利回り低下で前年を下回る

【資金利益(国内部門)の増減要因】

(億円、%)	11/9期			12/9期			増減			要因分析		12/3期		
	平残	利回	利息	平残	利回	利息	平残	利回	利息	平残	利回	平残	利回	利息
＜2行合算＞														
資金利益			644			620			▲24					1,305
貸出金	71,118	1.65%	591	71,929	1.56%	563	810	▲0.09%	▲27	6	▲34	71,410	1.64%	1,173
有価証券	23,029	0.97%	112	23,182	0.90%	104	153	▲0.07%	▲7	0	▲8	23,524	1.02%	240
預金・NCD	95,079	0.11%	53	96,989	0.08%	41	1,910	▲0.03%	▲12	0	▲13	95,141	0.10%	96
＜北陸銀行＞														
資金利益			365			352			▲12					732
貸出金	41,490	1.58%	330	41,472	1.49%	311	▲18	▲0.09%	▲19	▲0	▲19	41,552	1.57%	655
有価証券	11,959	1.14%	68	12,104	1.11%	67	145	▲0.03%	▲0	0	▲0	12,221	1.12%	137
預金・NCD	54,211	0.11%	32	55,093	0.08%	23	882	▲0.03%	▲8	0	▲8	54,220	0.10%	57
＜北海道銀行＞														
資金利益			278			267			▲11					572
貸出金	29,627	1.75%	260	30,457	1.65%	252	829	▲0.10%	▲8	7	▲15	29,857	1.73%	518
有価証券	11,069	0.79%	44	11,078	0.66%	37	8	▲0.13%	▲7	0	▲7	11,302	0.91%	103
預金・NCD	40,868	0.10%	20	41,895	0.08%	17	1,027	▲0.02%	▲3	0	▲4	40,921	0.09%	38

【13/3期計画】 (国内部門)

2行合算		
	平残	利回り
貸出金	+920	▲0.08%
有価証券	+380	▲0.08%
預金・NCD	+1,200	▲0.02%
北陸銀行		
	平残	利回り
貸出金	+320	▲0.06%
有価証券	+380	▲0.05%
預金・NCD	+470	▲0.03%
北海道銀行		
	平残	利回り
貸出金	+600	▲0.11%
有価証券	0	▲0.13%
預金・NCD	+730	▲0.02%

トップラインの増減要因② ～非金利収入

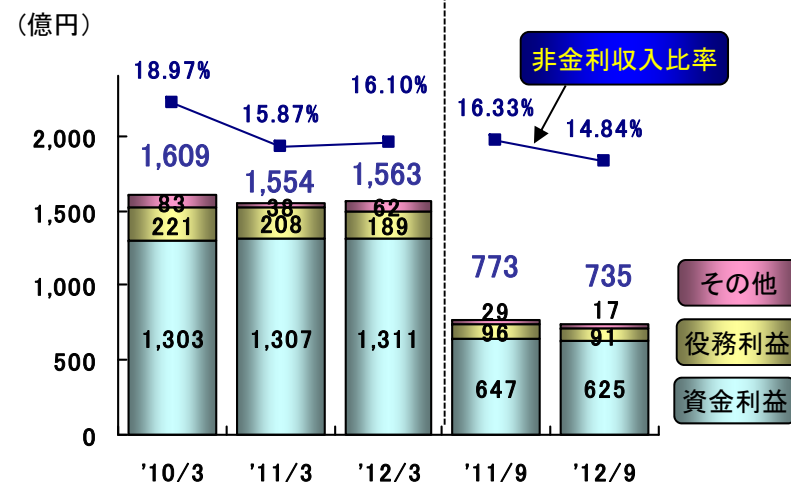
- 投信販売手数料の減少
- 金融派生商品収益の減少

【非金利収入の増減要因】

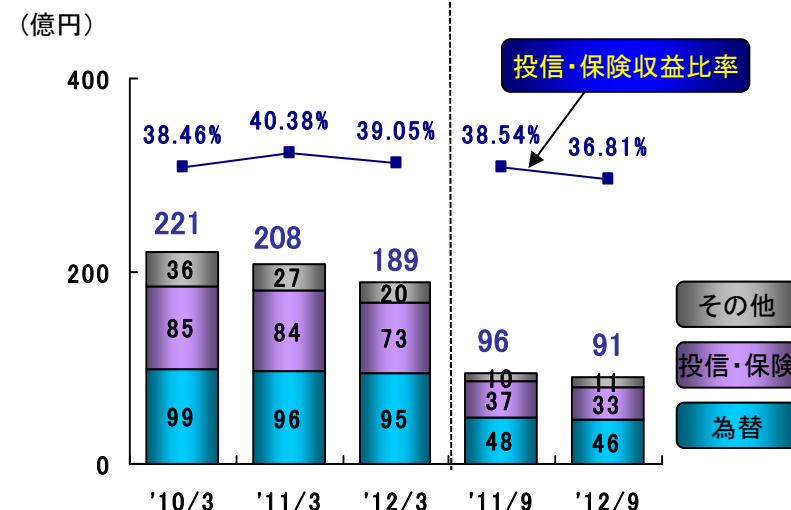
〈2行合算〉(億円)	12/9期	増減	11/9期
(1) 役務取引等利益	91	▲5	96
役務取引等収益	167	▲1	168
うち受入為替手数料	56	▲1	58
うち投資信託手数料	16	▲8	24
うち保険手数料	17	+3	13
役務取引等費用	75	+3	71
うち支払為替手数料	9	▲0	9
うちコンビニATM手数料	13	+1	12
うちローン保険料・保証料	48	+1	46
(2) 特定取引利益	1	▲3	4
(3) その他業務利益(除く5勘定戻)	16	▲8	24
うち外為売買損益(ネット)	6	▲1	8
うち金融派生商品収益	▲2	▲8	▲9
(4) 非金利収入計 (1)+(2)+(3)	109	▲17	126
(5) コア業務粗利益	735	▲38	773
(6) 非金利収入比率 (4)/(5)	14.84%	▲1.49%	16.33%

下線付数字: それぞれに含まれる債券のオプション取引損益

【コア業務粗利益】〈2行合算〉



【役務取引等利益】〈2行合算〉



トップラインの増減要因③ ～経費

➤ システム移行に関連した時間外手当や物件費の減少

【経費の増減要因】

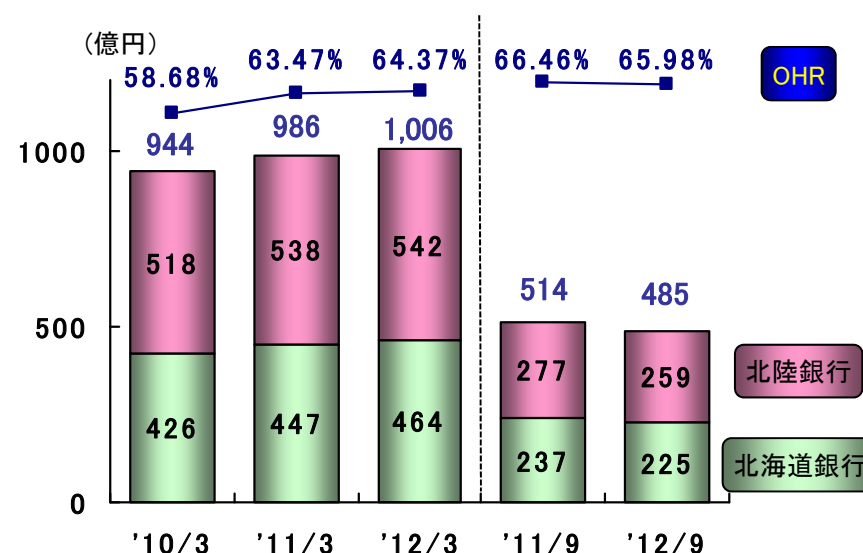
〈2行合算〉(億円)	12/9期	増減	11/9期
経費	485	▲29	514
人件費	224	▲4	229
物件費	236	▲16	253
税金	24	▲7	31
OHR	65.98%	▲0.48%	66.46%
従業員数(A)	5,349	+83	5,266
スタッフ数(B)	3,173	▲156	3,329
スタッフ比率(B)/{(A)+(B)}	37.23%	▲1.50%	38.73%

※OHR=(経費/コア業務粗利益)

※従業員数は嘱託、パート、派遣社員を除く正行員

※スタッフ数(B)=嘱託行員+契約社員+臨時雇+派遣・直接雇用パート

【経費・OHRの推移】〈2行合算〉



人件費 11/9比▲4億円

・・・時間外手当の減少

物件費 11/9比▲16億円

・・・システム関連費用の減少

有価証券関係損益

- 国債等関係損益 **93億円 (11/9期比 +65億円)**
- 株式等損益 **▲128億円 (11/9期比 ▲113億円)**

【有価証券関係損益】

〈2行合算〉

〈北陸銀行〉

〈北海道銀行〉

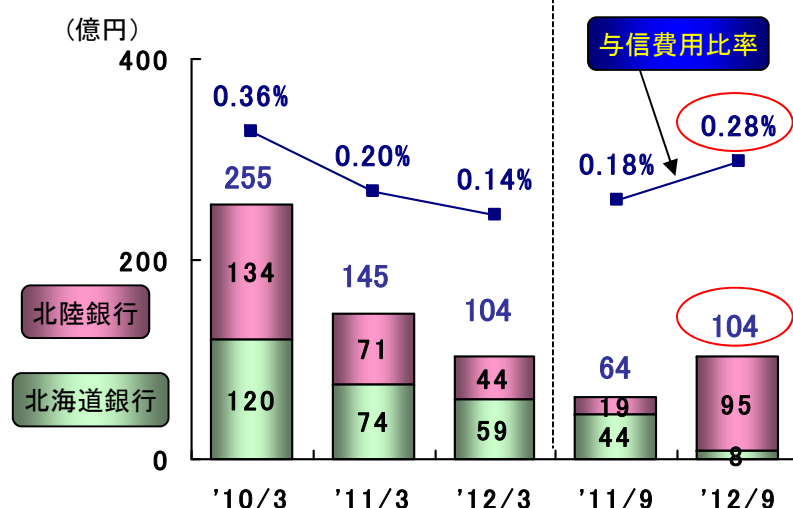
(億円)	12/9期	増減	11/9期	12/9期	増減	11/9期	12/9期	増減	11/9期
国債等債券損益	93	+65	27	58	+57	0	35	+8	27
売却益	98	+62	36	58	+58	0	39	+3	35
償還益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
売却損	4	+0	3	—	—	—	4	+0	3
償還損	0	▲4	4	—	—	—	0	▲4	4
償却	0	+0	0	0	+0	—	—	▲0	0
株式等損益	▲128	▲113	▲14	▲94	▲84	▲10	▲34	▲29	▲4
売却益	1	+0	1	0	+0	0	1	+0	0
売却損	1	+0	0	0	+0	0	1	+0	0
償却	128	+114	14	95	+84	11	33	+29	3

減損処理	要注意先以下	時価が取得原価に比べ下落
	正常先	時価が取得原価の50%以上下落、又は、時価が取得原価の30%超50%未満下落かつ市場価格が一定水準以下で推移等

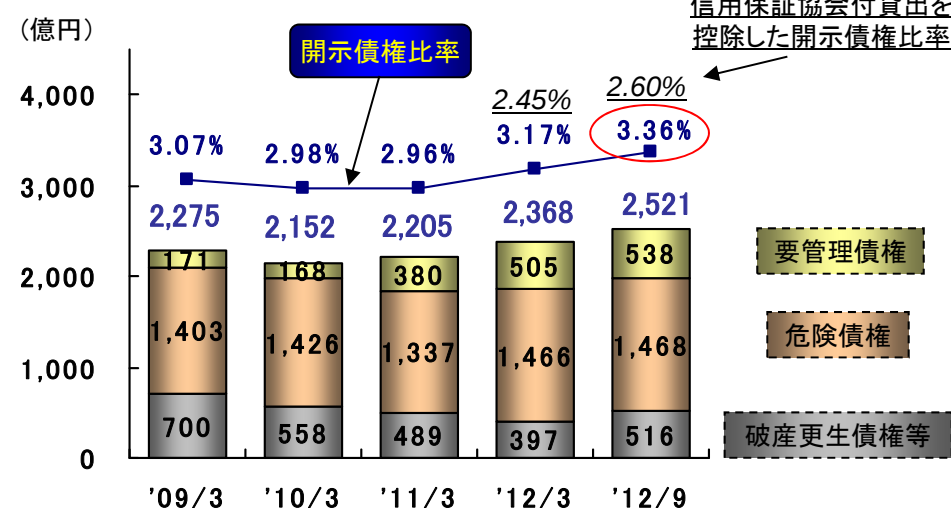
与信費用・不良債権

- 与信費用 104億円 (11/9期比+39億円) 、同比率 0.28% (11/9期比+0.10%)
- 開示債権比率 3.36% (12/3末比 +0.19%)

【与信費用】〈2行合算〉



【金融再生法開示債権】〈2行合算(+分割子会社)〉



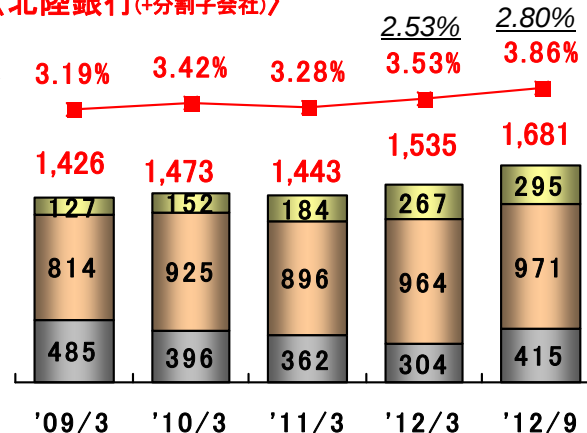
与信費用

= 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金繰入

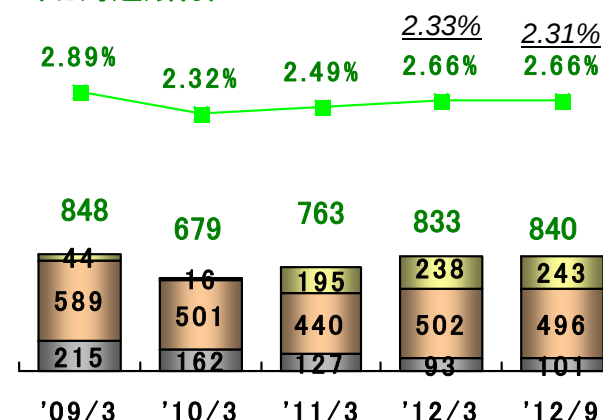
与信費用比率

= 与信費用 ÷ 貸出金平均残高

〈北陸銀行(+分割子会社)〉



〈北海道銀行〉



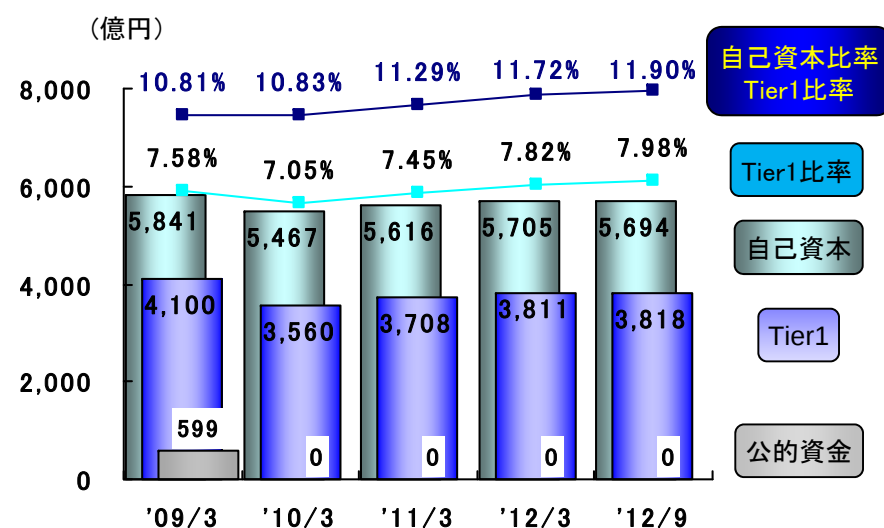
自己資本の状況

➤ 自己資本比率は11.90%（12/3末比+0.18%）

【自己資本比率】

〈ほくほくFG連結〉（億円）	12/9末	増減	12/3末
自己資本比率	11.90%	+0.18%	11.72%
Tier1比率	7.98%	+0.16%	7.82%
Tier1	3,818	+7	3,811
うち優先株式(民間)	537	-	537
Tier2	1,884	▲20	1,905
自己資本合計	5,694	▲11	5,705
リスクアセット	47,838	▲842	48,681
信用リスク	44,872	▲798	45,671
オペレーショナルリスク	2,965	▲44	3,009

【自己資本比率・公的資金残高等の推移】



〈北陸銀行(単体)〉

（億円）	12/9末	増減	12/3末
自己資本比率	11.89%	+0.04%	11.85%
Tier1比率	7.78%	+0.01%	7.77%
Tier1	2,088	▲38	2,126
Tier2	1,103	▲12	1,115
自己資本合計	3,191	▲50	3,241
リスクアセット	26,832	▲518	27,350

〈北海道銀行(単体)〉

12/9末	増減	12/3末
自己資本比率	+0.25%	10.80%
Tier1比率	+0.31%	7.17%
Tier1	+42	1,508
Tier2	▲24	764
自己資本合計	+18	2,272
リスクアセット	▲308	21,036

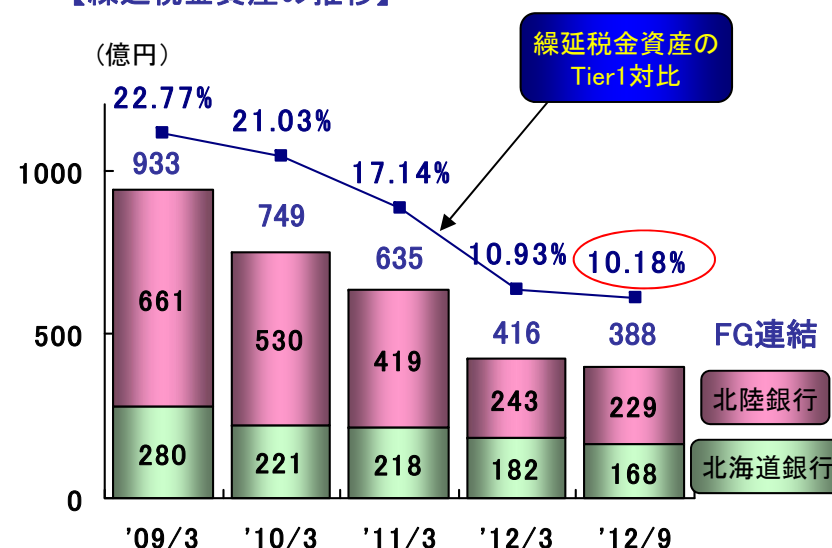
繰延税金資産

- 繰延税金資産 388億円 (12/3末比▲27億円)
- Tier1対比 10.18% (12/3末比▲0.75%)

【繰延税金資産の発生の内訳】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	12/9末	増減	12/3末
貸倒引当金損金算入限度超過額	556	▲17	574
減価償却損金算入限度超過額	13	▲0	14
退職給付引当金	144	▲15	159
有価証券評価損否認額	160	+23	136
その他	49	▲4	53
繰越欠損金	96	▲20	117
(1) 繰延税金資産小計	1,021	▲34	1,055
(2) 評価性引当額	390	▲6	397
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	630	▲27	658
(4) 繰延税金負債合計	242	+0	241
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	388	▲27	416

【繰延税金資産の推移】



〈北陸銀行〉

(億円)	12/9末	増減	12/3末
(1) 繰延税金資産小計	721	▲4	726
(2) 評価性引当額	339	+2	336
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	382	▲7	389
(4) 繰延税金負債合計	153	+6	146
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	229	▲14	243

〈北海道銀行〉

(億円)	12/9末	増減	12/3末
(1) 繰延税金資産小計	256	▲30	287
(2) 評価性引当額	23	▲9	33
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	232	▲20	253
(4) 繰延税金負債合計	64	▲6	70
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	168	▲13	182

業績予想

【13/3期 業績予想】

〈ほくほくFG連結〉

(億円)	中間期 実績	通期 予想	前年度比
経常収益	1,057	2,000	▲79
経常利益	89	195	▲193
当期純利益	61	120	▲21

【13/3期 配当予想】

〈ほくほくFG単体〉

	中間 予想	期末 予想	年間 予想	前年度比
普 通 株 式	-	3円75銭	3円75銭	-
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭	-

〈2行合算〉

(億円)	中間期 実績	通期 予想	前年度比
経常収益	985	1,865	▲65
コア業務粗利益	735	1,455	▲108
経費	485	975	▲31
コア業務純益	250	480	▲77
与信費用	104	205	+100
経常利益	94	210	▲195
当期純利益	70	140	▲26

〈北陸銀行(単体)〉

	中間期 実績	通期 予想	前年度比
	562	1,055	+0
	424	825	▲60
	259	520	▲22
	164	305	▲38
	95	135	+90
	23	110	▲164
	19	75	▲39

〈北海道銀行(単体)〉

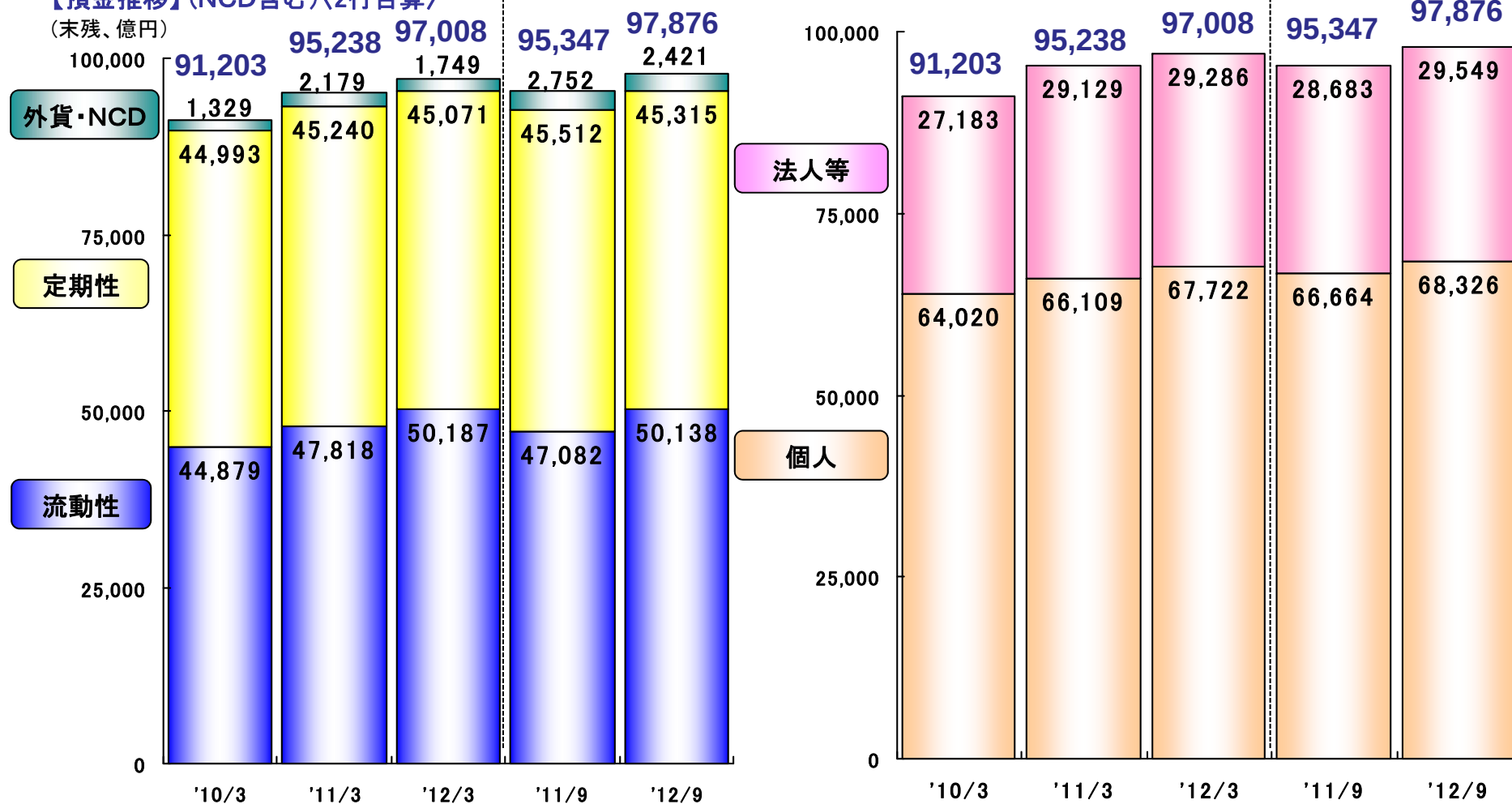
	中間期 実績	通期 予想	前年度比
	423	810	▲65
	310	630	▲48
	225	455	▲9
	85	175	▲39
	8	70	+10
	71	100	▲31
	50	65	+12

預金

- 預金 11/9末比 +2,528億円(+2.65%)
- 流動性 11/9末比 +3,056億円(+6.49%)
- 個人 11/9末比 +1,662億円(+2.49%)

【預金推移】(NCD含む)〈2行合算〉

(末残、億円)

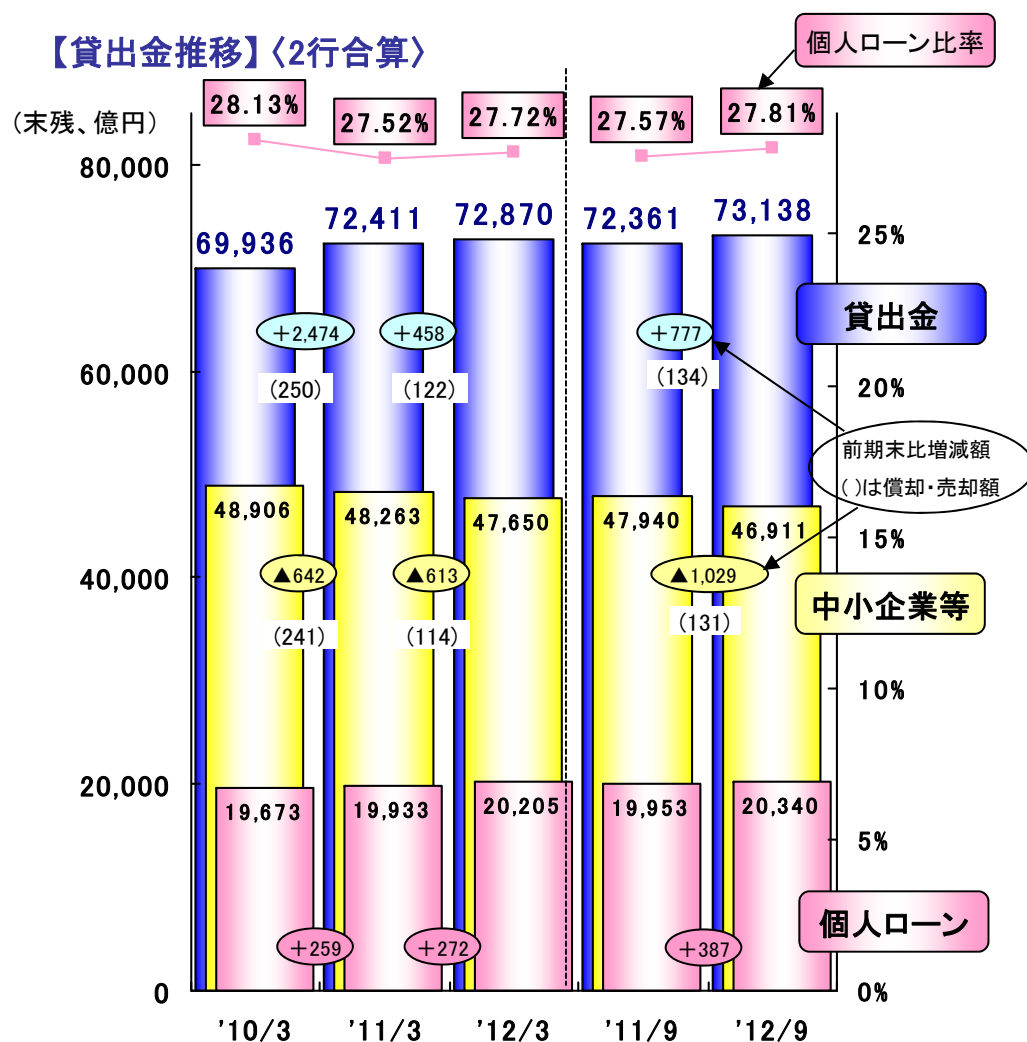


貸出金

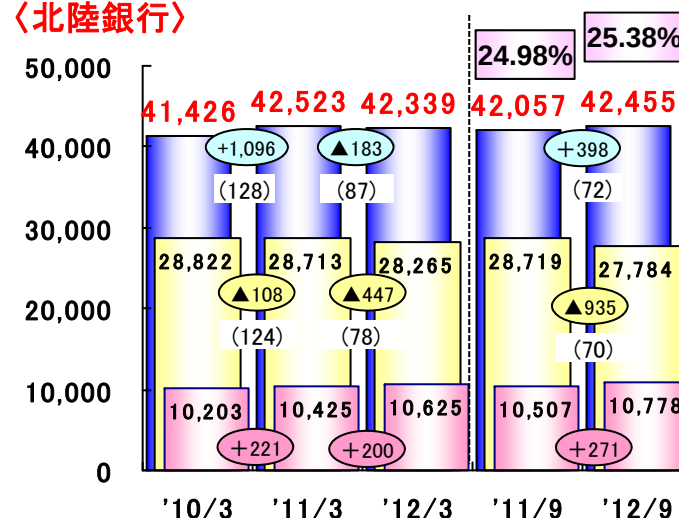
- 貸出金 11/9末比 + 777億円(+1.07%)
- 中小企業等向け 11/9末比 ▲1,029億円(▲2.14%)
- 個人ローン 11/9末比 +387億円(+1.94%)

※償却・売却要因 134億円
(うち中小企業向け131億円)

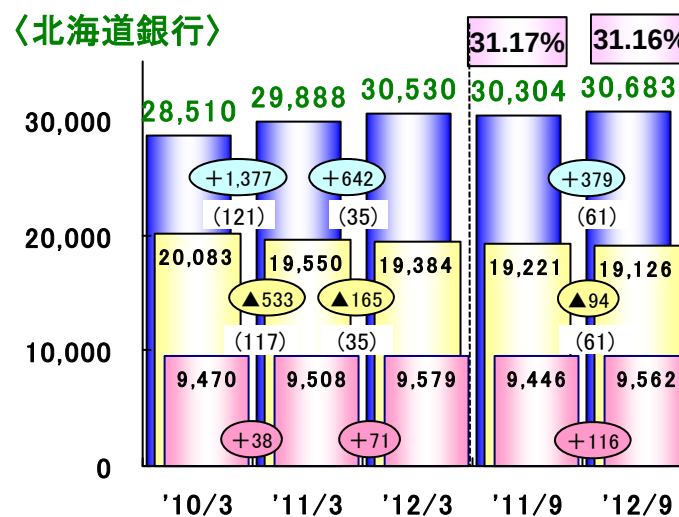
【貸出金推移】〈2行合算〉



〈北陸銀行〉



〈北海道銀行〉

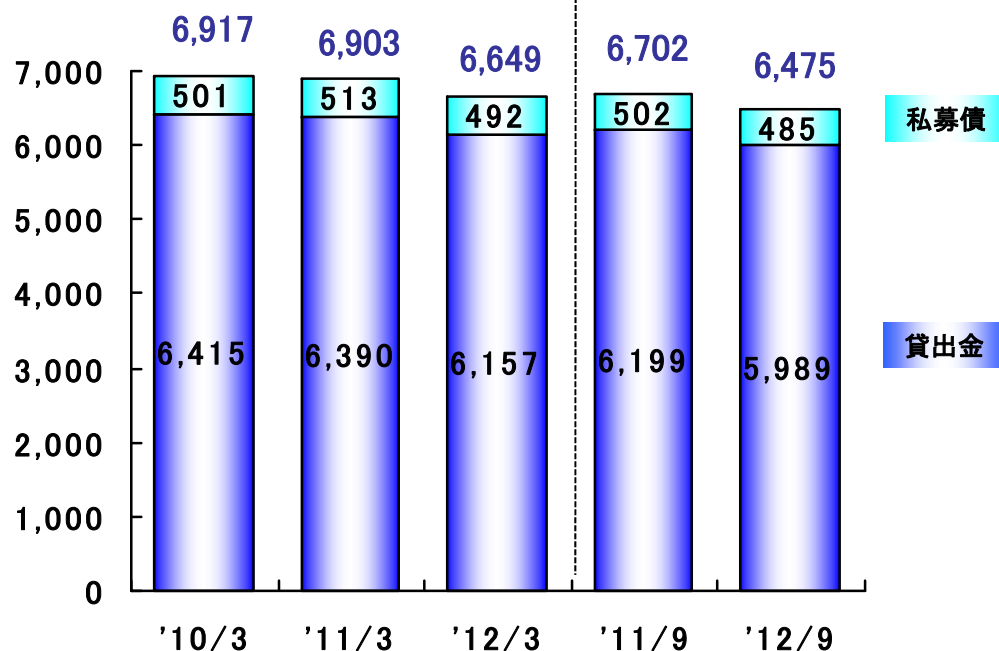


信用保証協会保証付貸出

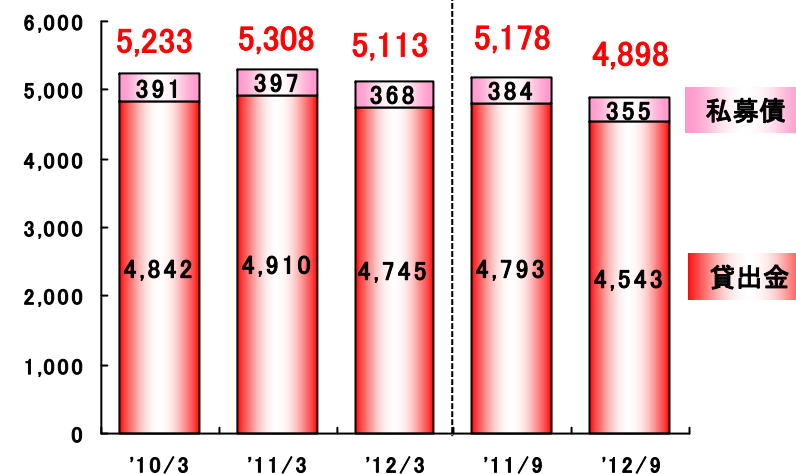
➤ 信用保証協会保証付貸出金等残高 11/9末比 ▲227億円(▲3.39%)

【マル保付貸出金等推移】〈2行合算〉

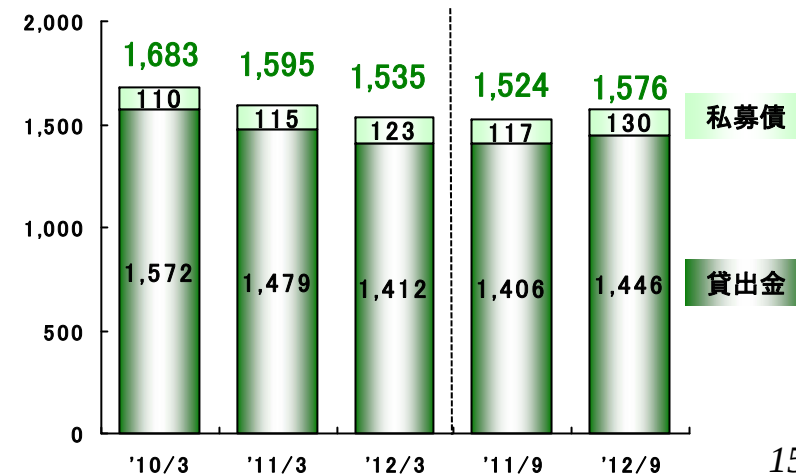
(末残、億円)



〈北陸銀行〉



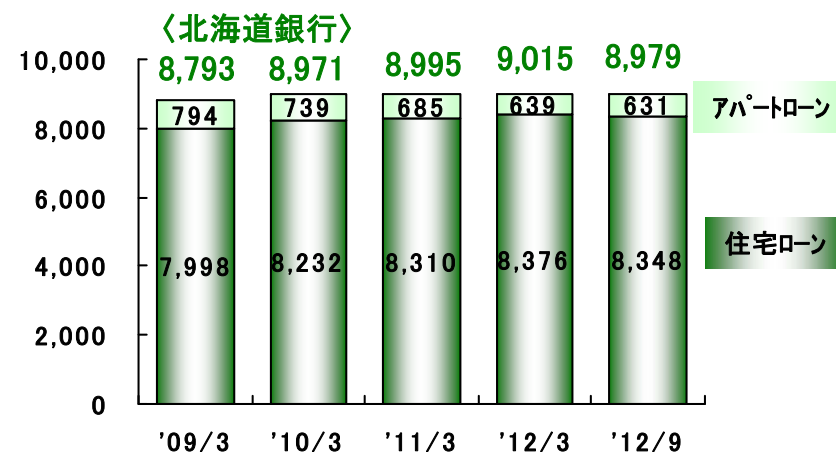
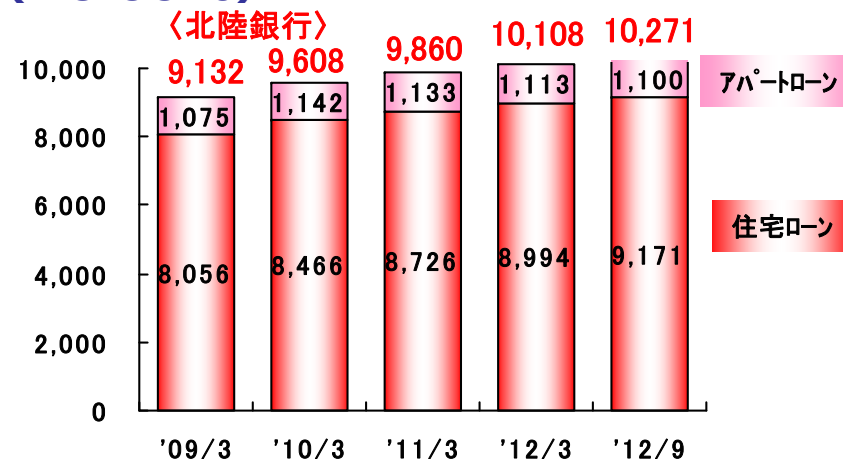
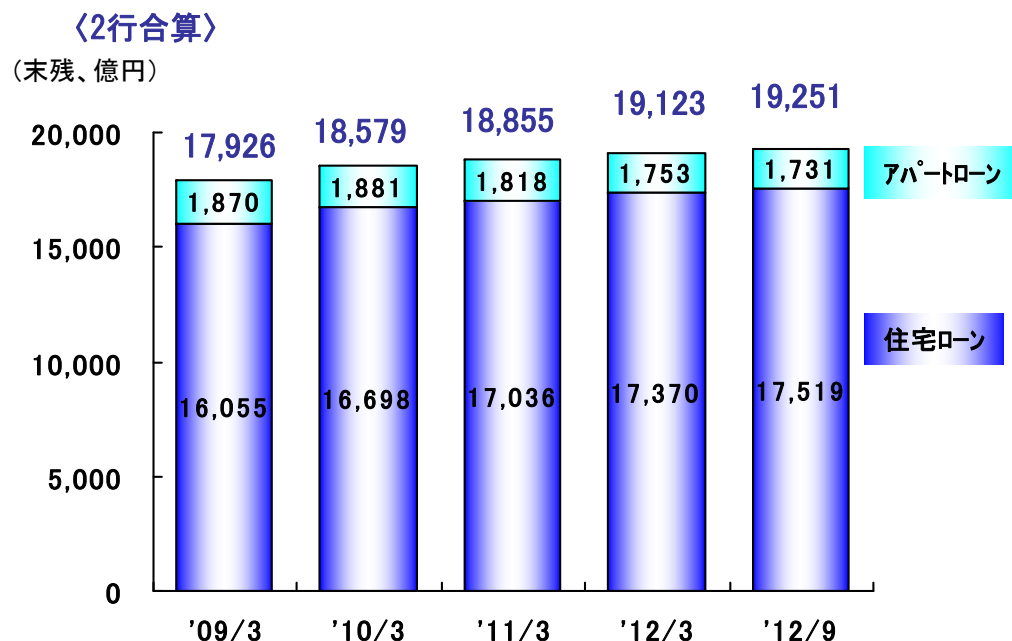
〈北海道銀行〉



住宅ローン

住宅系ローン残高は12/3末比+127億円 (+0.66%)

【住宅系ローン残高の推移】

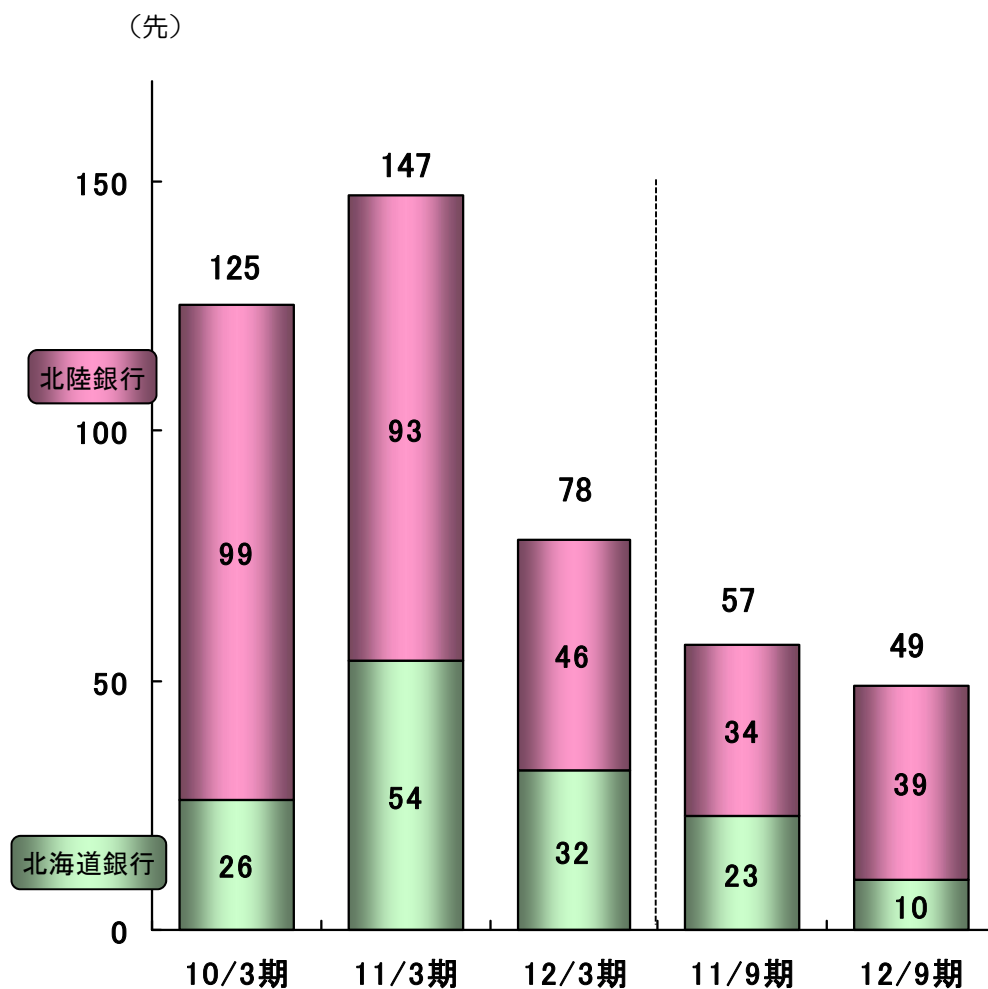


【住宅ローン実行額の推移】

(億円)	〈2行合算〉					〈北陸銀行〉					〈北海道銀行〉				
	10/3期	11/3期	12/3期	11/9期	12/9期	10/3期	11/3期	12/3期	11/9期	12/9期	10/3期	11/3期	12/3期	11/9期	12/9期
住宅ローン実行額	2,095	1,894	1,880	817	940	1,047	961	998	474	552	1,048	932	881	342	387
うち新築	1,413	1,257	1,326	574	708	719	595	659	323	392	694	661	667	251	315
うち借換	682	637	553	242	232	327	366	339	150	160	354	270	214	91	71

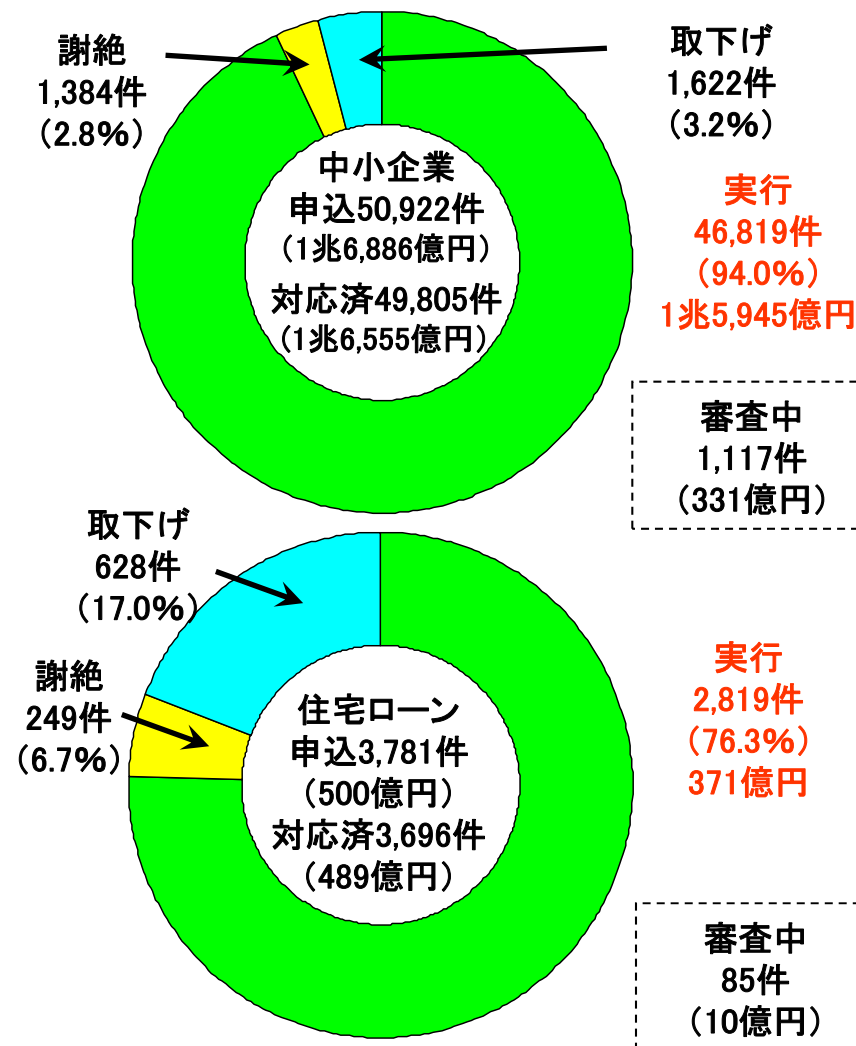
取引先支援・金融円滑化への対応

【経営改善支援の取組成果】



※経営改善支援により債務者区分がランクアップした先数

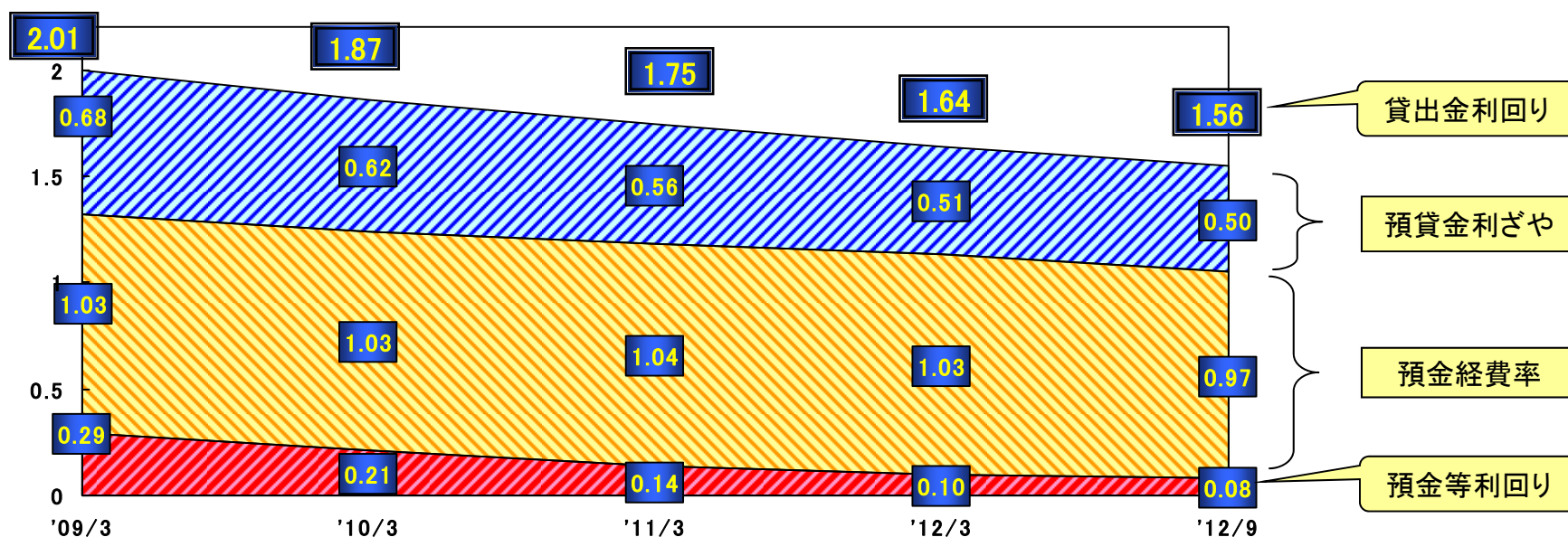
【金融円滑化対応実績】＜2行合算＞（2009年12月～2012年9月）



※「謝絶」には受付から3ヶ月超経過した先を含む

- 貸出金利回り 12/3期比 ▲0.08%
- 預金等利回り 12/3期比 ▲0.02%
- 預貸金利ざや 12/3期比 ▲0.01%

【預貸金利ざや(国内業務部門)の推移】〈2行合算〉
(%)



〈2行合算〉

(%)	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	12/9期
貸出金利回り	2.01	1.87	1.75	1.64	1.56
預貸金利ざや	0.68	0.62	0.56	0.51	0.50
預金経費率	1.03	1.03	1.04	1.03	0.97
預金等利回り	0.29	0.21	0.14	0.10	0.08

〈北陸銀行〉

(%)	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	12/9期
貸出金利回り	1.93	1.80	1.68	1.57	1.49
預貸金利ざや	0.62	0.59	0.54	0.50	0.49
預金経費率	1.00	0.98	0.99	0.97	0.91
預金等利回り	0.30	0.22	0.15	0.10	0.08

〈北海道銀行〉

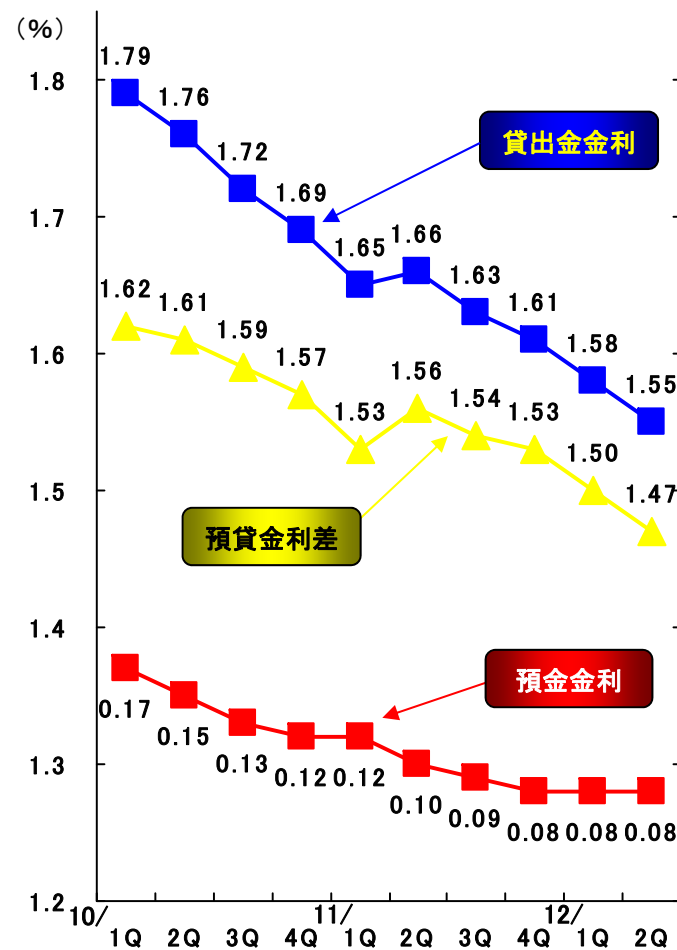
(%)	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	12/9期
貸出金利回り	2.14	1.98	1.84	1.73	1.65
預貸金利ざや	0.78	0.68	0.60	0.52	0.51
預金経費率	1.08	1.10	1.11	1.11	1.05
預金等利回り	0.27	0.19	0.12	0.09	0.08

預貸金利ざや②

- 12/2Q 貸出金利 1.55%(11/2Q比▲0.11%)
- 12/2Q 預金金利 0.08%(11/2Q比▲0.02%)

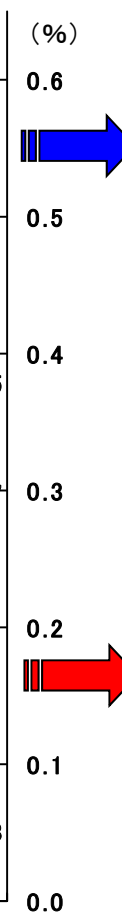
【円貨預貸金利の推移】〈2行合算〉

貸出金利



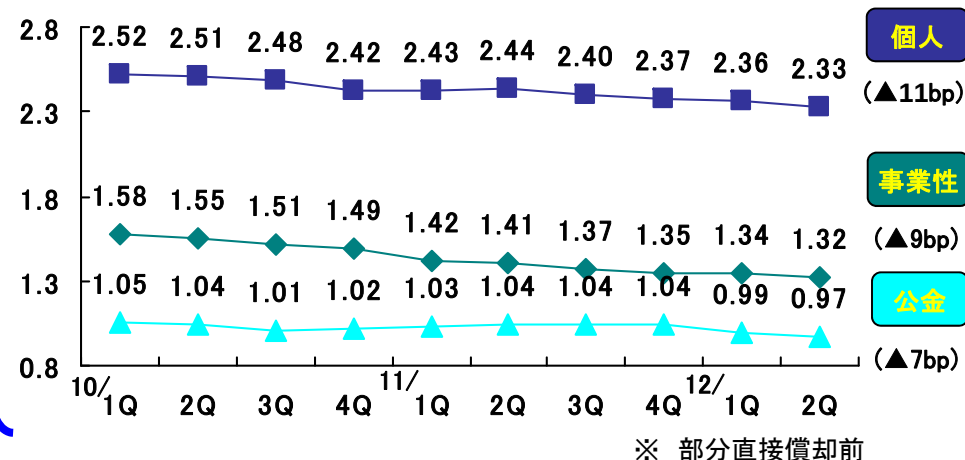
※ 内部管理ベース(約定金利ベース)

預金金利



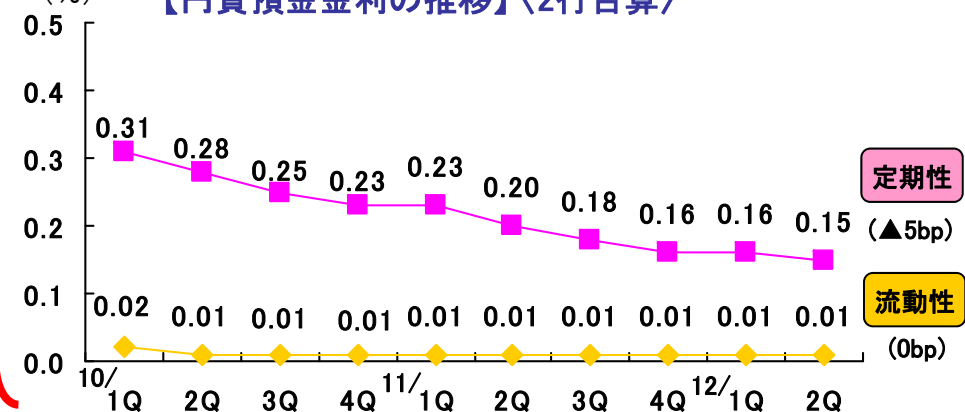
【円貨貸出金利の推移】〈2行合算〉

(%)



【円貨預金金利の推移】〈2行合算〉

(%)



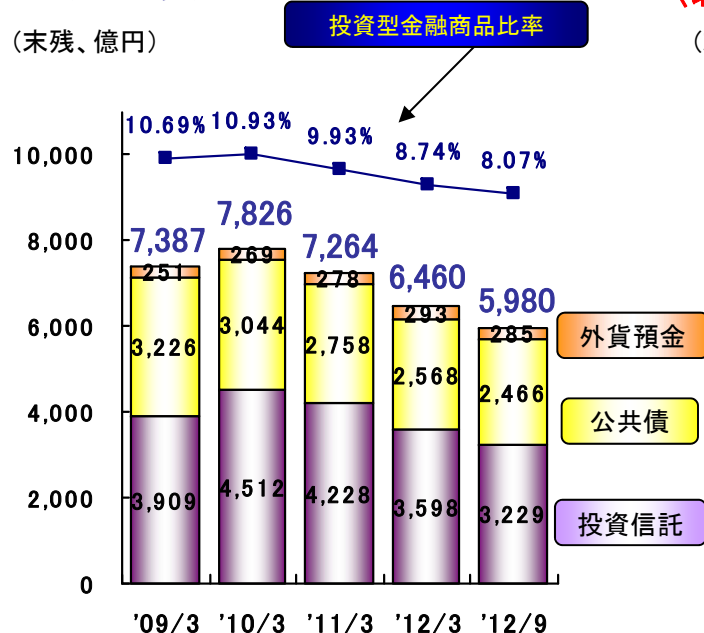
※ ()内は11/2Qとの比較

投資型金融商品

➤ 投信販売額は減少、生命保険販売額は増加

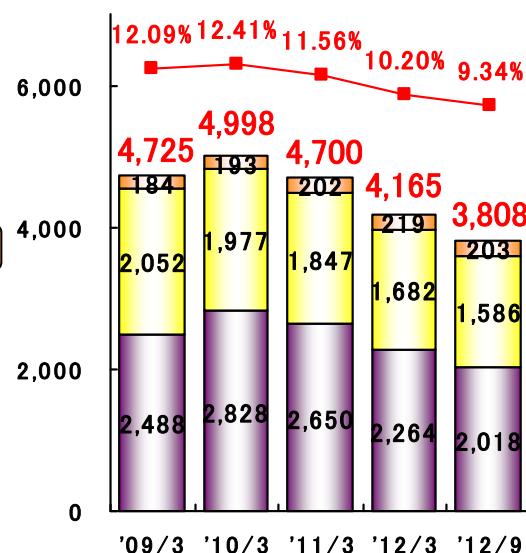
【投資型金融商品の推移】

〈2行合算〉



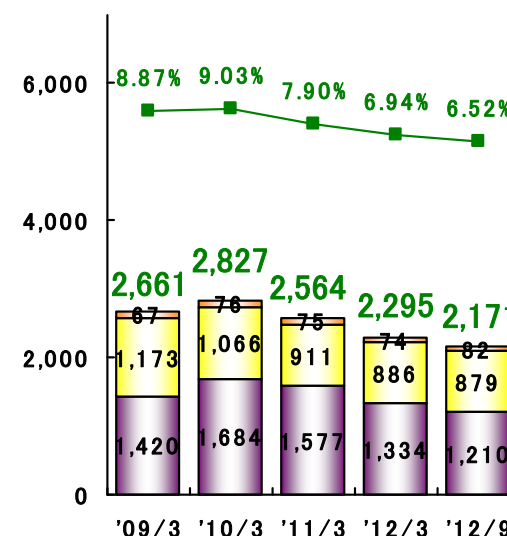
〈北陸銀行〉

(末残、億円)



〈北海道銀行〉

(末残、億円)



【投資型金融商品販売額、手数料の推移】

〈2行合算〉

(億円)

	10/下期	11/上期	11/下期	12/上期
投資信託販売額	617	658	329	349
生命保険販売額	489	425	658	605
投資信託手数料	23	24	16	16
保険手数料	16	13	19	17

〈北陸銀行〉

	10/下期	11/上期	11/下期	12/上期
投資信託販売額	460	472	216	249
生命保険販売額	344	239	422	346
投資信託手数料	15	16	10	10
保険手数料	12	8	13	11

〈北海道銀行〉

	10/下期	11/上期	11/下期	12/上期
投資信託販売額	157	185	112	99
生命保険販売額	145	185	235	259
投資信託手数料	7	7	5	5
保険手数料	4	5	5	6

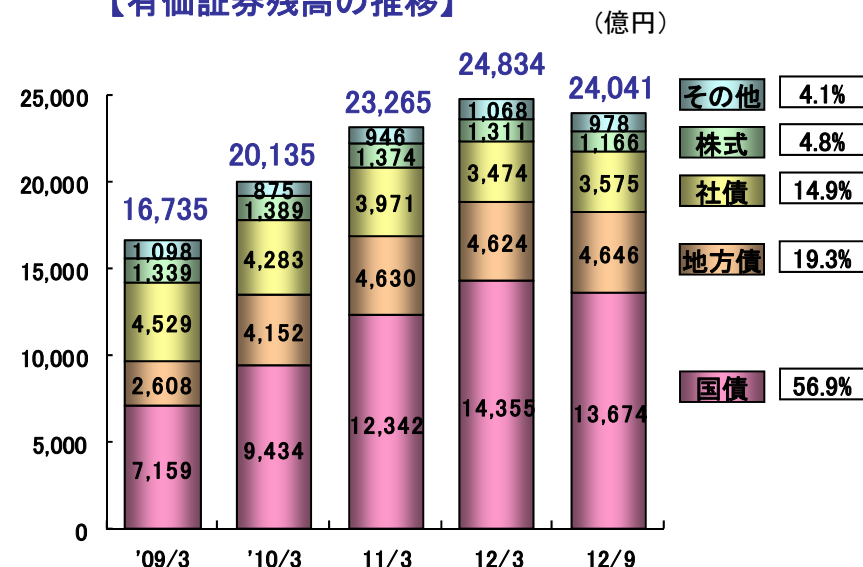
有価証券残高・評価損益

- 有価証券残高は国債を中心に増加
- 債券の評価益は増加

【有価証券残高】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	12/9末	増減	12/3末
有価証券	24,041	▲793	24,834
国債	13,674	▲680	14,355
地方債	4,646	+22	4,624
社債	3,575	+101	3,474
株式	1,166	▲144	1,311
その他	978	▲90	1,068

【有価証券残高の推移】



【有価証券の評価損益】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	取得原価			貸借対照表計上額			評価差額		
	12/9末	増減	12/3末	12/9末	増減	12/3末	12/9末	増減	12/3末
その他有価証券	23,014	▲1,296	24,311	23,415	▲1,291	24,707	401	+5	395
株式	864	▲117	982	867	▲141	1,009	3	▲24	27
債券	20,251	▲1,137	21,389	20,666	▲1,104	21,770	414	+33	381
その他	1,898	▲41	1,939	1,882	▲45	1,927	▲16	▲4	▲12

【変動利付国債の評価損益】 (億円)

〈参考〉評価損益	〈2行合算〉	〈北陸銀行〉	〈北海道銀行〉
理論価格	53	43	10
市場価格	38	43	▲4

【銀行勘定の金利リスク】 (億円)

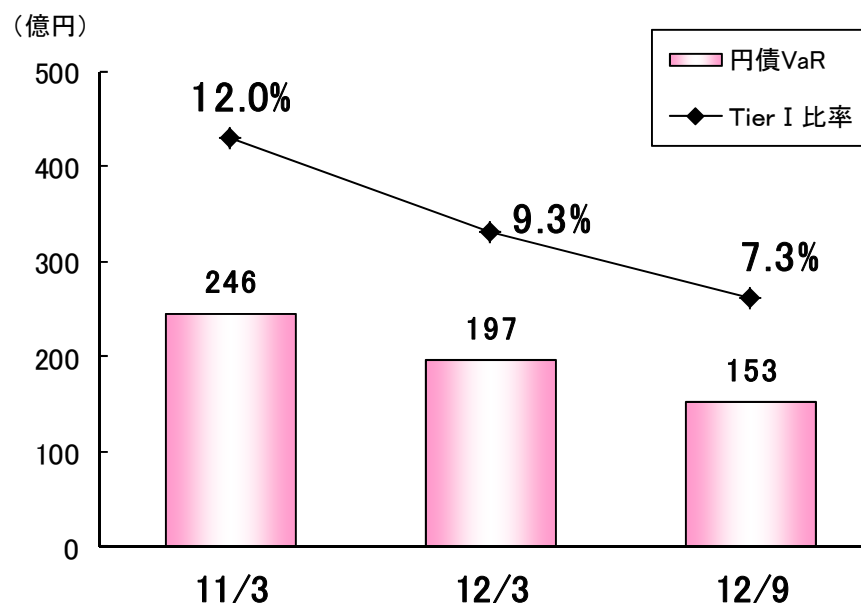
	〈北陸銀行〉	〈北海道銀行〉
金利リスク量	54	85
アウトライヤー比率	1.69%	3.74%

99パーセンタイル値

ポートフォリオ(円貨債券)

【円貨債券の残高、利回り、金利リスク】 ※ 内部管理ベース

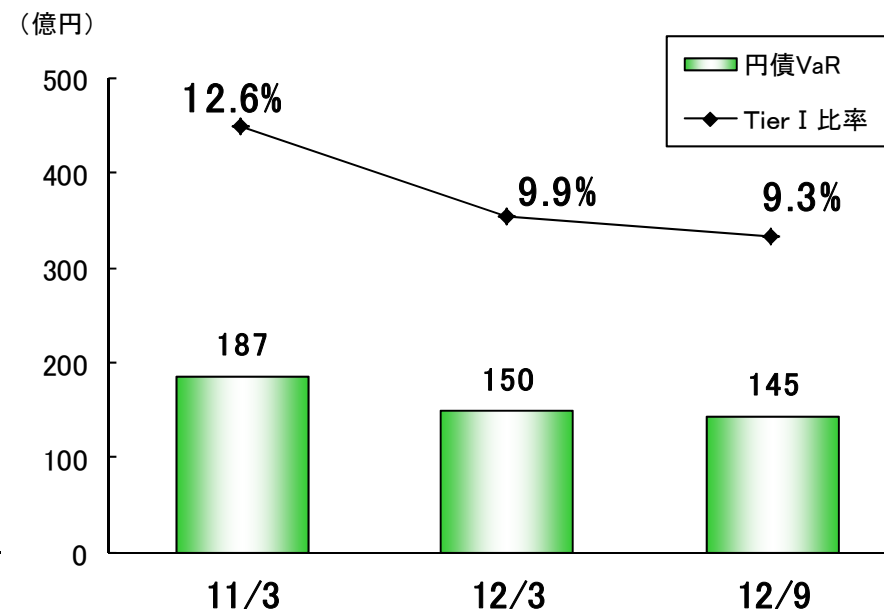
〈北陸銀行〉



	12/3期	12/9期
北陸銀行		
残高(末残)	11,773億円	10,575億円
うち変動利付国債	2,261億円	2,373億円
期中平均利回り(%)	1.04%	0.99%
デュレーション(年)	4.44年	4.00年
VaR	197億円	153億円

※VaR：'11/9期より計測手法を分散共分散法からヒストリカル法に変更

〈北海道銀行〉



	12/3期	12/9期
北海道銀行		
残高(末残)	10,605億円	11,245億円
うち変動利付国債	1,336億円	1,331億円
期中平均利回り(%)	0.76%	0.63%
デュレーション(年)	3.90年	3.93年
VaR	150億円	145億円

中期経営計画 *Road to 10*

- 預金、貸出、自己資本比率および不良債権比率は目標水準をクリア
- 収益項目は低金利の継続など厳しい外部環境により苦戦

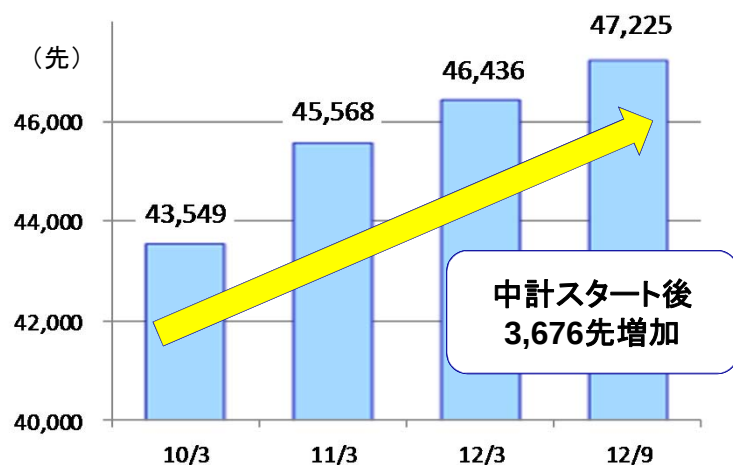
2010年4月～2012年9月期の進捗状況 (FG連結／2行合算)

	12年9期(実績)		13年3期(計画)	達成見込項目
総預金平残	9兆7,630億円		9兆5,500億円	※
貸出金平残(部直前)	7兆3,192億円		7兆2,000億円	※
コア業務純益	250億円		700億円	
(連結)当期純利益	61億円		255億円	
(連結)自己資本比率 (連結Tier1比率)	11.90% (7.98%)		11.5%以上 (7.5%以上)	※ (※)
OHR	65.98%		58%	
ROA (コア業務純益ベース)	0.47%		0.68%	
ROE (連結当期純利益ベース)	2.68%		6%以上	
不良債権比率	3.36%		3%程度	※

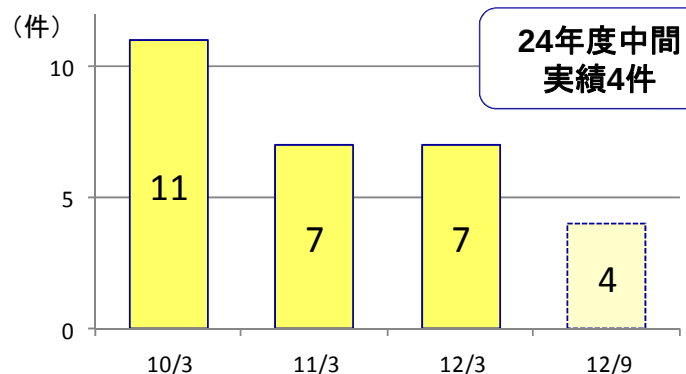
営業力の強化 ①法人戦略

- 最適なソリューション営業を通じて、貸出先数の増加とボリュームアップを図る
- 付加価値の提供により顧客満足度を高め、トータル採算性の向上を図る

事業性貸出先数の推移(2行合算)



M&A成約件数(2行合算)



ビジネス支援

- ビジスマッチング商談会 (24上期 8回開催)
- 異業種進出支援(6次産業化ファンド)
- 海外進出支援(北陸銀行6拠点、北海道銀行2拠点)
- 事業承継・M&A (24上期成約件数4件)

コンサルティング

- 各種セミナー、経営相談会
- 助成金・補助金提案(公的助成ヘルプデスク)
- 24年10月、道銀地域総合研究所事業開始

新規獲得への取り組み

- 顧客接点の拡大(実態把握・商流把握)
- 店舗機能の拡充(新規出店、出張所の支店化)
- 成長分野への注力(成長分野ファンド)
- 新規専用商品、法人保険の活用

日本M&Aセンターベストパートナー賞

✓ 北陸銀行が提携地方銀行89行の中で第1号を受賞

営業力の強化 ②ビジネスマッチング

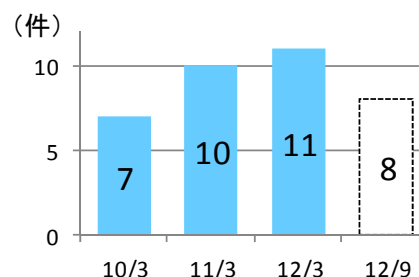
- 商談会による販路拡大支援の他、お取引先の経営課題解決支援の取組みを強化
- 成長分野への取組みにより、事業拡大、異業種参入を支援

販路拡大支援 ～ 今年度の商談会は8回開催

2012.7～首都圏～高級スーパー個別商談会



商談会開催実績(2行合算)



成長分野への取組み(農業)

◆ 最先端の情報発信

2012.10
アグリビジネス
フォーラム2012



- ◆ 農業6次産業化支援(地域ファンド)
- ◆ 外部専門家との顧問契約
- ◆ 北海道フード特区で連携協定
- ◆ 農業経営アドバイザー 全国最多**53人**

北海道銀行29人 北陸銀行24人

経営課題解決支援

経営相談会

事業承継・M&Aセミナー

医療機関向けセミナー

公的助成ヘルプデスク

- ✓ 経済産業省の中小企業支援ネットワーク強化事業に基づき、北陸3県延べ124ヶ店で開催。
- ✓ 様々な経営課題や新事業展開(経営革新、農商工連携、地域資源活用等認定事業)、海外展開等のご相談を受付。

4月以降の認定実績**11件**

(株)道銀地域総合研究所



2012年10月事業開始
お取引先の経営相談、支援態勢を強化

営業力の強化 ③海外進出支援

- バンコク駐在員事務所の開設により、アジアビジネスの支援ネットワーク拡充
- 海外進出支援を通じて、国内での資金需要取込みを図る

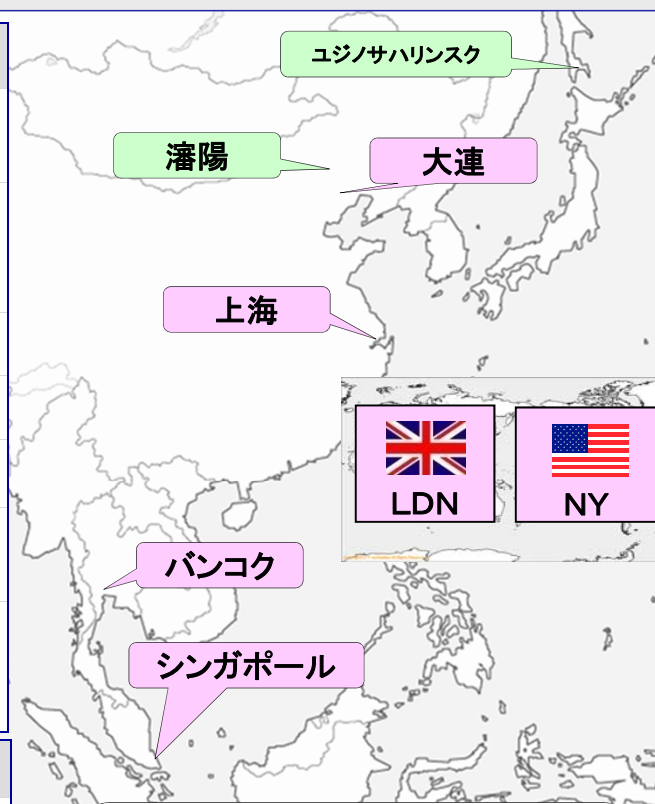
海外進出支援ネットワーク

提携外国金融機関

アジア 全域	スタンダード チャータード銀行
中国	中国銀行 中国交通銀行 上海銀行
タイ	カシコン銀行
インド	インドステイト銀行
ベトナム	ベトコム銀行
インド ネシア	バンク・ネガラ・ インドネシア
ロシア	VTB銀行 ロシア・ガスプロム ズベルバンク

海外拠点

北陸銀行	6拠点
北海道銀行	2拠点



- 今年度、新たに業務提携締結
- ✓ 2012.6 新日本有限責任監査法人
 - ✓ 2012.10 あらた監査法人

海外ビジネス展開支援

- 今年度は商談会を3回開催(海外2回)
- セミナー、フォーラム、情報交換会を14回開催

海外バイヤー招聘商談会



ズベルバンクと企業情報交換会



資金調達支援

- 現地貸はサービス開始以降7件の取扱い
- 取扱通貨はUS\$に加え、人民元、THBとお取引先のニーズに対応し現地通貨を用意

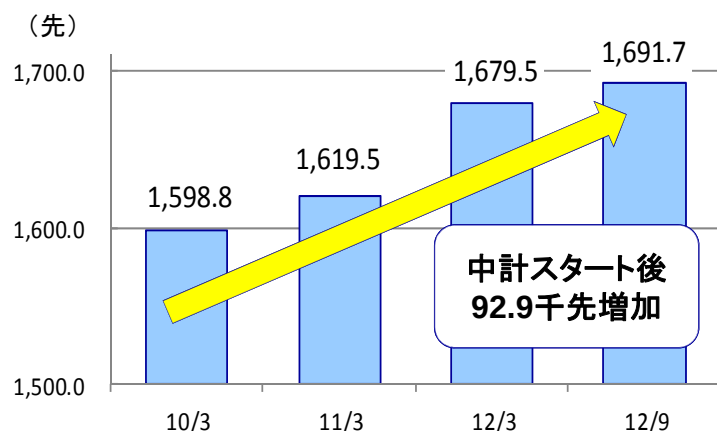
コンサルティング

- 外部専門機関との業務提携
税務、財務、法務などのコンサルニーズに対応
- 損害保険会社との業務提携

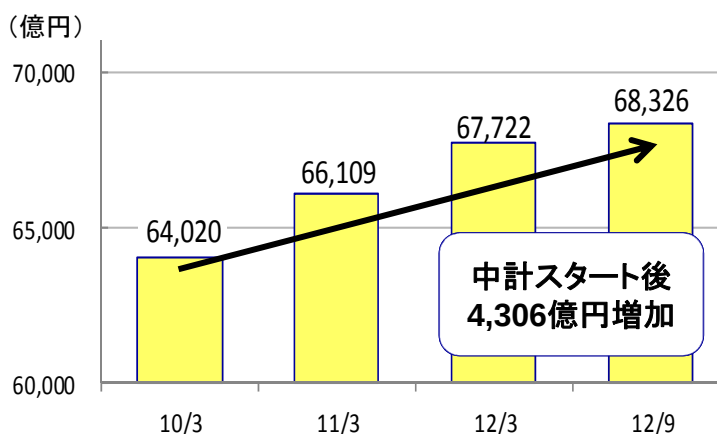
営業力の強化 ④個人戦略

- 給振年金先数の増加により個人預金は安定的に増加
- さらなる積上げを図るとともに、住宅ローン、運用提案等により基盤拡大を図る

給振年金先数推移(2行合算)

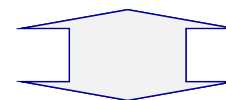


個人預金残高推移(2行合算)



給振年金先数増加に向けた取組み

- 【給 振】 サービスプログラムの提供、住宅ローン先のセット化
提携カード(kitaca)、新入社員セミナー支援
- 【年 金】 年金相談会、退職金運用相談、401K推進



チャネル強化

- ◆ 出張所の支店化、新規出店
- ◆ ネットチャネル拡充
- ◆ ダイレクトマーケティング(保険)

住宅ローン

- ◆ ワイドカバー団信、女性専用(リラ)
- ◆ リフォーム業者との紐帯強化
- ◆ 消費増税前の駆け込み需要取入

決済機能 家計バックアップ

- ◆ クレジットカード
- ◆ 公共料金(Web受付サービス取扱い)
- ◆ カードローン、目的型ローン

運用商品

- ◆ ネット投信の拡販(手数料割引キャンペーン)
- ◆ 公共債、外貨預金、宝くじ定期預金
- ◆ 医療・がん保険の推進

営業力の強化 ⑤店舗戦略・人財育成

- 人員増加は一段落、戦略的な重点分野への再配置を実施
- 女性行員の渉外担当、役席登用や役職経験のあるベテラン層の活用で人員構成の偏りを補い、効率的な活用を図る

店舗機能の拡充

2012.11 豊田出張所、西岡出張所、高岡清水町出張所が支店昇格



2012.10 桑園支店開設



人財育成

人員推移

	10/3末	11/3末	12/3末	12/9末
2行合算	4,521	4,940	5,140	5,349
北陸銀行	2,611	2,718	2,755	2,868
北海道銀行	1,910	2,222	2,385	2,481

(人)

人員＝執行役員＋行員

【増加要因】

- 共同利用システム移行対応
- 営業戦力の増強
- 契約社員、スタッフからの雇用形態変更

基本戦略

- 人員数は安定確保しながら質の向上を図る
- 戦略的な重点分野への再配置
- 金融不安後の採用抑制(30歳代後半)を補う人材を育成

若手戦力化

- 育成プログラムの実施(3年間の定員外管理)
- 一般職の渉外戦力化(リテール推進強化)
- ロジカルシンキング研修(案件組成能力向上)

女性行員

- 渉外、融資の戦力化
- 管理職への積極登用
- 恒常的な人事異動

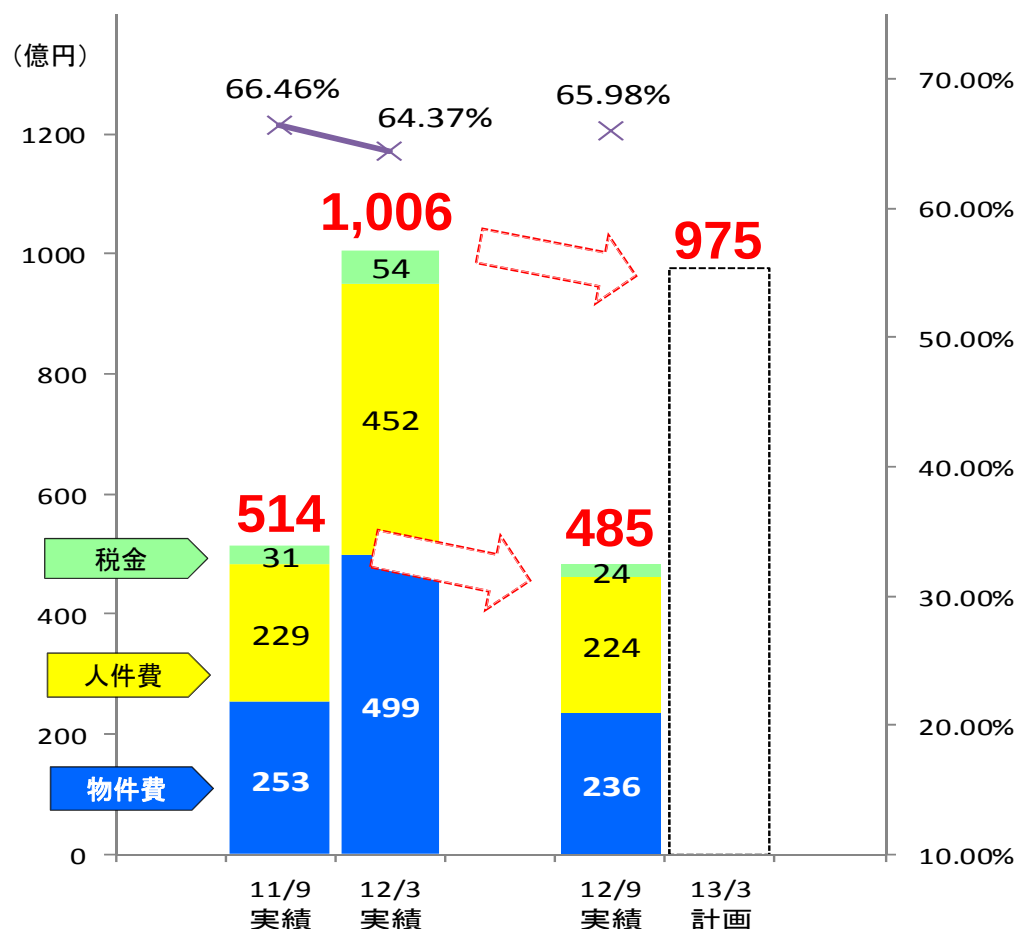
ベテラン層

- 登用年齢の弾力化
- 役席補佐としての権限付与
- 各種トレーニー制度の活用
- 支店長の任用年齢延長

経営の効率化 経費削減への取組

- 共同利用システムの移行完了に伴い経費はピークアウト、導入効果の更なる追求を図る
- トップラインの低下によりOHRは高止まり、経費削減への取組みにより低減を図る

経費・OHR（2行合算）



FGシナジー効果を加速

◆ MEJAR 導入効果

- ✓ 共同利用行による開発コストの分散化
- ✓ 利用行の増加による利用料の分散化
- ✓ サブシステムの共同化
- ✓ システム開発の迅速化

◆ 本部機能の集約化

◆ バックオフィスの共同化拡大

経費削減への取組み

- ◆ コストカット(CC)運動
- ◆ 経費管理WGを組成
- ◆ 営業店事務の本部集中化拡大

経営基盤の安定化 ①金融円滑化出口支援

- 金融円滑化法終了後の業務改善進捗度合に応じた解決策をお取引先に提示
- 企業再生支援機構、中小企業再生支援協議会との連携、再生ファンドの活用

金融円滑化法終了後の対応方針

- ✓ 金融円滑化法の主旨に沿った対応を継続
- ✓ より一層のコンサルティング機能を発揮
- ✓ 経営支援力向上のための特別研修を実施

金融円滑化対応先

- ◆ 実抜計画の進捗良好先
- ◆ 計画未達だが経営改善可能な先
- ◆ 計画未達で事業再生・業種転換必要な先
- ◆ 計画未達で再生の可能性なし

継続フォロー

経営課題の集中的取組

◆ 支援協議会、再生支援機構、再生ファンド
DDS、DES、ABL等の活用

廃業、事業譲渡支援

北陸銀行

経営改善支援の取組状況(平成24年度上半期)

北海道銀行

経営改善支援の取組状況

経営改善支援の取組状況

期初債務者数	12,580先
経営改善支援先数	604先
再生計画策定先	553先
ランクアップ先	39先

経営改善支援 取組み率	4.80%
再生計画策定率	91.56%
ランクアップ率	6.46%

期初債務者数	3,716先
経営改善支援先数	271先
再生計画策定先	264先
ランクアップ先	10先

経営改善支援 取組み率	7.29%
再生計画策定率	97.42%
ランクアップ率	3.69%

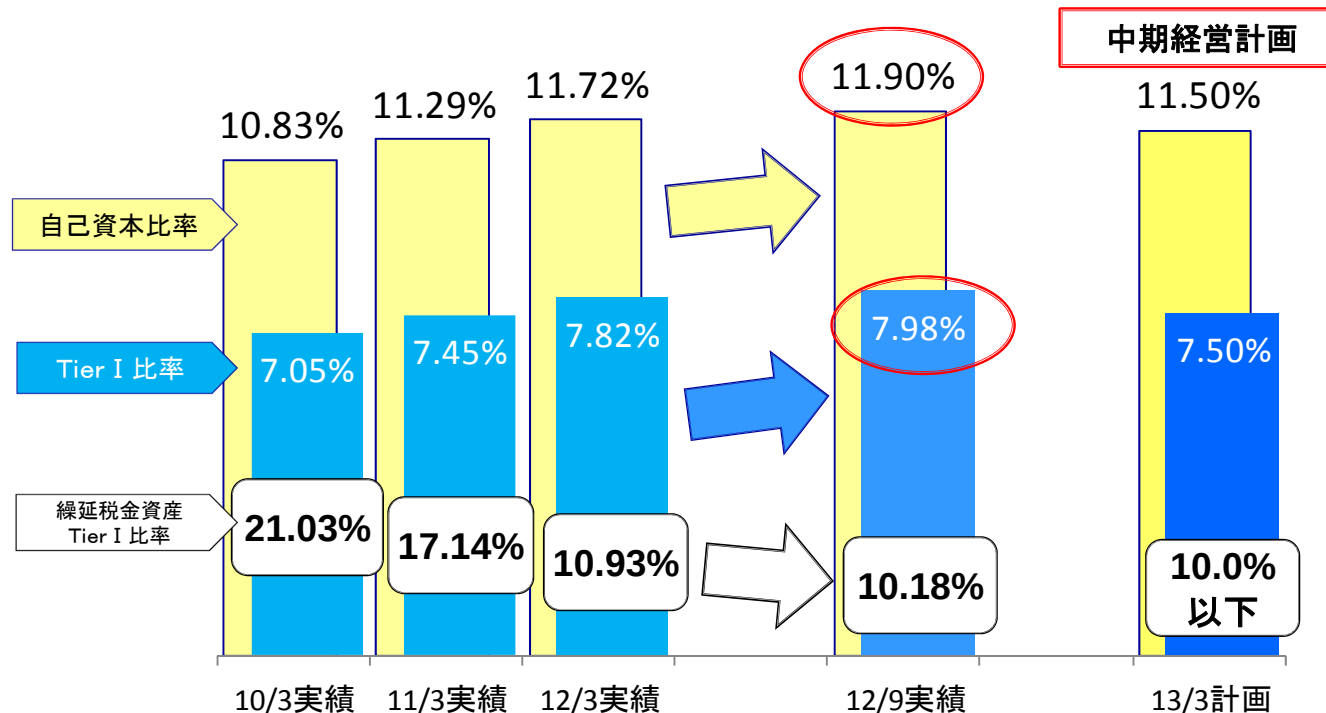
※経営改善支援の先数には正常先を含んでおりません

※経営改善支援の先数には正常先を含んでおりません

経営基盤の安定化 ②資本政策

- 12/9期現在、自己資本比率、Tier I 比率は中期経営計画の目標水準をクリア
- 12年上期、株主価値の向上を図るため、2度の自己株取得を実施
- 優先株や劣後ローン(劣後債)はバーゼルⅢ国内基準の内容を踏まえて対応策を検討

自己資本比率・Tier1比率 <FG連結>



中期経営計画

基本方針

利益により剰余金を確保し
Tier I 資本を積上げ

収益状況を見ながら
株主還元を検討

バーゼルⅢ国内基準を
踏まえた資本政策を実施

自己株取得状況

- ・12年5月、30,000千株
3,607百万円
- ・12年9月、20,000千株
2,319百万円

	10/3実績	11/3実績	12/3実績
普通株式 配当金	3.5円	3.75円	3.75円

13/3予想
3.75円

「地域共栄」の経営理念のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、
皆さまと共に歩み、成長・発展することを目指します。



芸術文化振興

美術館
「ギャラリー・ミレー」
オープン

スポーツ振興

「どうぎんカーリング
スタジアム」オープン



災害時支援

大垣共立銀行と
災害時相互協力協定締結



産学連携

酪農学園大学と農業
分野で連携協定締結

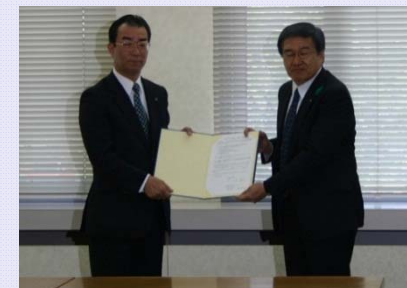


包括連携協力協定

金沢大学で特別講義

産業振興

自治体と北海道フード特区
連携協定締結



本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ(担当:鈴木)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL: honsa2@hokuhoku-fg.co.jp
<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。